

日本地質学会第122年学術大会（2015 長野大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月12日（土）午前

会場	第1会場（工学部講義棟 100）	第2会場（工学部講義棟 102）	第3会場（工学部講義棟 200）
	R8. 堆積物（岩）の起源・組織・組成	R22. 地球史	S2. 東アジアのテクトニクスと古地理
	座長：太田 亨（1-4）、野田 篤（5-7）	座長：尾上哲治（14-16）	座長：Simon WALLIS（1-3）、Yasufumi IRYU（4-5）
8：45	8：45 R8-O-1 北米北部Rae地塊の前期原生代Murmac Bay層群クォーツアイトの岩石学的検討と碎屑性ジルコン同位体分析. 沢田 輝・磯崎 行雄・堤 之恭・飯塚 毅	8：45 R22-O-14 Radiolarian assemblages from surface sediments of the Northwestern Pacific Ocean. Matsuzaki Kenji M. ・Itaki Takuya	9：00 Introduction（趣旨説明）
	9：00 R8-O-2 オマーン山地、下部三疊系半遠洋性堆積物の岩相と化学組成. 吉田孝紀 ・葉田野 希	9：00 R22-O-15 白亜系蝦夷層群における浮遊性・底生有孔虫、放散虫統合層序の樹立と古環境解析. 西 弘嗣 ・小安浩理・尾松圭太・高嶋礼詩	9：10 S2-O-1 The early Palaeozoic evolution of Japan. WILLIAMS Mark ・WALLIS Simon・OJI Tatsuo・LANE Phil・VANDENBROUCKE Thijs・SIVETER David・SIVETER Derek・TANAKA Gengo・KOMATSU Toshifumi・STOCKER Christopher
	9：15 R8-O-3（招待）★ 堆積性軟岩の化学的風化. 大山隆弘	9：15 R22-O-16 北海道蝦夷層群Cenomanian/Turonian境界堆積岩の有機地球化学指標に記録された海洋の酸化還元環境変動. 安藤卓人 ・沢田 健・中村英人・宮田遊磨・尾松圭太・高嶋礼詩・西 弘嗣	9：40 S2-O-2（招待） Development of the Middle Paleozoic in Japan inferred from radiolarian biostratigraphy, inter-terrane correlations, and tectonic relationships with neighboring orogenic belts in NE Asia. KURIHARA Toshiyuki
	9：45 R8-O-4 新潟～信越堆積盆-富山トラフの砂岩組成と碎屑物供給系. 中嶋 健 ・高野 修・興津 修・檀原 徹・山下 透		10：10 S2-O-3（招待） Upper Paleozoic stratigraphy and tectonic evolution in Thailand. CHAROENTITIRAT Thasinee ・UENO Katsumi
	10：00 R8-O-5 北海道蝦夷層群における白亜紀海洋無酸素化事変の原因としての“風化仮説”の検証. 上形由布子・高木悠花・太田 亨	R17. 情報地質とその利活用	10：40 S2-O-4（招待） Testing Lower Palaeozoic palaeogeography using fossils. SIVETER David ・TANAKA Gengo・WILLIAMS Mark
	10：15 R8-O-6 西南日本後期白亜紀前期の堆積盆における砂岩組成変化から何が読み取れるか？ 別所孝範	座長：野々垣 進（1-2）	11：10 S2-O-5 Protracted onset of the Cambrian explosion based on the trace fossil record. OJI Tatsuo ・DORNBOS Stephen・YADA Keigo・GONCHIGDORJ Sersmaa・HASEGAWA Hitoshi・MOCHIZUKI Takafumi・TAKAYANAGI Hideko・IRYU Yasufumi
	10：30 R8-O-7（招待）★ 全国地球化学図を利用した陸から海への物質移動過程解明. 太田充恒	9：45 R17-O-1★ 長野県地質図（2015）と地質情報の活用. 富樫 均 ・信州地質情報活用研究会・古本吉倫・松下英次	
	R9. 炭酸塩岩の起源と地球環境	10：00 R17-O-2 カーネル密度推定を用いたスプライン補間した地質境界面の信頼度評価. 升本真二 ・根本達也・吉田宗可・ラガワン ベンカテッシュ・野々垣 進	
	座長：中澤 努（1-2）	T4. 三次元地質モデル研究の新展開	
	11：15 R9-O-1★ 南部マリアナ前弧しんかい湧水域で発達するチムニーの鉱物組成と堆積組織. 奥村知世 ・石井輝秋・小原泰彦・高井研・YK13-08及びYK14-13乗船研究者一同	座長：高野 修（1-3）、升本真二（4-5）	
	11：30 R9-O-2 滴下水-石筈方解石間の同位体分別：鹿児島県沖永良部島クリンジョフキにおけるケーススタディー. 山田 努 ・松田博貴・馬淵しの・財津良太	10：15 T4-O-1 ボーリングデータ解析による千葉市地域の浅部地下構造モデリング. 木村克己 ・花島祐樹・大井昌弘・落合 努	
		10：30 T4-O-2 沖積層の3次元モデル構築における堆積相区分の重要性. 中尾健人 ・石原与四郎・成瀬 元	
		10：45 T4-O-3（招待）★ 大阪堆積盆地構造モデルの改良. 関口春子 ・浅野公之・岩田知孝・吉見雅行・堀川晴央・竿本英貴・林田拓己	
		11：15 T4-O-4 WebGLを用いた新日本シームレス地質図3Dの公開. 西岡芳晴 ・銀木 護・瀧沢 哲	
		11：30 T4-O-5（招待）★ CIMにおける地質・地盤の3次元モデルについて. 秋山泰久	

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）のそれぞれに、ポスター（P）/口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (11) を参照）。（招待）：招待講演。

日本地質学会第122年学術大会（2015長野大会）講演プログラム（口頭）

■9月12日（土）午前

会場	第4会場（工学部講義棟300）	第5会場（工学部講義棟301）	第6会場（学部共通棟1）
	R21. 第四紀地質	R12. 岩石・鉱物の変形と反応	R15. 古生物
	座長：公文富士夫（15-18）	座長：森 宏（15-19）	座長：山口龍彦（1-4）
8：45	8：45 R21-O-15 富山湾沿岸地域の沖積層に記録されたイベント堆積物。 下部厚志 ・清水水康博・鈴木幸治・片岡香子・仁科健二・川上源太郎・平川一臣・酒井英男	8：45 R12-O-15 断層構造の発展と地殻の強度低下：微細構造および物質移動解析からの考察。 竹下 徹 ・荒井 駿・金子由実	
	9：00 R21-O-16 熊本県南部を流下する球磨川の変遷と規制要因（その2）。 寺田 昂世 ・田中 均	9：00 R12-O-16（招待）★ 粘土鉱物の摩擦ヒーリング特性と沈み込みプレート境界での固着度。 片山郁夫	
	9：15 R21-O-17 八ヶ岳連峰東麓に分布する火山灰土壌の有する重金属吸着特性の基礎的検討。 新井達之 ・太田萌美・栗原正憲・香村一夫	9：15 R12-O-17 伊豆-ボニン-マリアナ弧を構成する岩石のすべり特性：高温摩擦実験と低～高速摩擦実験からの考察。 兵東玄威 ・高橋美紀・斎藤実篤・廣瀬丈洋	
	9：30 R21-O-18 X線分析顕微鏡（XGT）による半定量分析結果の評価と化学組成連続分析への適用。 長橋良隆 ・中澤なおみ	9：30 R12-O-18 高圧型変成岩中に認められるアクチノ閃石・緑泥石集合体の摩擦特性。 岡本あゆみ ・Niemeijer André R.・Spiers Christopher J.・竹下 徹・合地信生	
	R3. 噴火・火山発達史と噴出物	9：45 R12-O-19 チャートの中速摩擦実験で形成された断層ガウジ物質の微細構造と摩擦特性。 堤 昭人 ・三宅 亮・飯田大貴	
	座長：長井雅史（1-4）、上澤真平（5-8）		
	10：00 R3-O-1 オフリッジ巨大海底溶岩流の組成変化と固化過程：オマーンオフィオライトV3溶岩原の岩石学・地球化学。 大塚 遼 ・海野進・草野有紀・金山恭子	R14. テクトニクス	
	10：15 R3-O-2 ハイアロクラスタイトの形成機構の解明—水底溶岩流の破碎を支配する要因について。 梅澤優美 ・海野 進・金山恭子・草野有紀・安田 敦	座長：武藤 潤（1-3）、西川 治（4-7）	
	10：30 R3-O-3 新島軽石：爆発的噴火に直接由来する水底密度流堆積物の堆積学的特徴。 鹿野和彦 ・内村公大	10：00 R14-O-1（招待） 熱年代学を用いた山岳の隆起/侵食史復元。 田上高広	
	10：45 R3-O-4 屋久島に分布するテフラのU-Th-Pb年代測定から推定された鬼界カルデラの活動史。 伊藤久敏 ・上澤真平・東丸直頌・七山太・中川正二郎	10：30 R14-O-2 OSL感度変化を利用した断層活動の到達温度推定。 鴈澤好博 ・越前賢哉・山崎朋子	
	11：00 R3-O-5 十和田火山、噴火エピソードN-L間の噴火活動史。 工藤 崇	10：45 R14-O-3 ニュージーランド、アルパイン断層上盤の熱ルミネセンス年代。 西川 治 ・チューンビー ティラボン・高島 勲・重松紀生	
	11：15 R3-O-6 四阿火山南麓から東麓における火山活動史。 桐生和樹 ・竹下欣宏	11：00 R14-O-4 2008SCAT高分解能反射法地震探査によって明らかとなった伊那谷断層帯の地下構造。 伊藤谷生 ・狩野謙一・松島信幸・村松 武・阿部進・菊池伸輔・藤原明・村田和則・池田安隆・山北 聡・工藤 健・佐藤比呂志・金田平太郎・宮内崇裕・阿部信太郎	10：45 R15-O-1 北欧エストニアにおけるオルドビス紀中期の動物多様化と環境変動。 島塚桃子 ・磯崎行雄・可見智美・石川 晃・Poldvere Anne・Bauert Heikki
	11：30 R3-O-7 群馬県西部嬭恋層群中から見出された、中期更新世八甲田国本テフラ。 山田真嵩 ・田辺智隆・鈴木毅彦	11：15 R14-O-5 北陸地域の浅部～深部地殻構造と活構造。 石山達也 ・佐藤比呂志・加藤直子・越谷 信・松原 誠・阿部 進・東中元倫	11：00 R15-O-2 岐阜県山県市円原地区の美濃帯石灰岩から産出した巻きの解けた微小なフズリナ類について（続報）。 太田泰弘 ・佐野弘好・杵山哲男
	11：45 R3-O-8 長野県霧ヶ峰地域和田峠火山岩類の地質と年代。 長井雅史 ・金成太郎・弦巻賢介・柴田 徹・杉原重夫	11：30 R14-O-6 島根県隠岐諸島島後に産するマントル捕獲岩に対する弾性波速度測定。 高橋宏和 ・石川正弘	11：15 R15-O-3 南部北上帯下部三疊系産Thylacocephala（囊頭類）：わが国からの初産出とその意義。 永広昌之 ・佐々木 理・鹿納晴尚・根本 潤・加藤久佳
		11：45 R14-O-7 Fault Response Modelling - Application of Elastic Dislocation theory in earthquake research and industry. Grossmann Johannes ・Macaulay Euan・Broichhausen Heike・Ellis Jenny・戸村元史	11：30 R15-O-4 白亜系海洋無酸素事変層準の堆積岩中に見出されるアクリタークの起源生物と白亜紀海洋における基礎生産への寄与。 安藤卓人 ・沢田 健・高嶋礼詩・西 弘嗣

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。 ★印：ハイライト（本誌 p. (11) を参照）。（招待）：招待講演。

日本地質学会第122年学術大会（2015 長野大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月12日（土）午前

会場	第7会場（学部共通棟3）	
	R18. 環境地質	
	座長：田村嘉之（1-4）、高嶋恒太（5-8）、風岡 修（9-12）	
8：45	8：45 千葉県内の観測井に現れた2015年遠地地震の影響. 香川 淳 ・古野邦雄・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・荻津 達・風岡 修	R18-O-1
	9：00 房総半島中央部における長周期地震動の特徴－速度計による観測結果－. 加藤晶子 ・酒井 豊・荻津 達	R18-O-2
	9：15 歴史地震から見た長野県北部の震害の特徴. 山浦直人・ 塩野敏昭	R18-O-3
	9：30 2011年東日本大震災の津波堆積物中の重金属類の起源. 土屋範芳 ・細田憲弘・渡邊隆弘	R18-O-4
	9：45 東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性セシウムの森林土壌における深度分布の経年変化. 新里忠史 ・阿部寛信・石井康雄・佐々木祥人・三田地勝昭・北村哲浩・山口正秋	R18-O-5
	10：00 簡易地盤リスク自動判定システムを用いた戸建て住宅向け地盤災害リスク情報普及の試み. 横山芳春 ・山辺雅志・加藤未希・大久保拓郎	R18-O-6
	10：15 宇治市における環境変化と災害、及び宇治川堤防の安全性. 紺谷吉弘	R18-O-7
	10：30 江戸時代（1840年）に記録された新潟県佐渡島相川鉱山のじん肺について. 仲川隆夫	R18-O-8
	10：45 汽水湖・中海における ²²⁴ Ra/ ²²⁸ Ra比； ²²⁴ Ra/ ²²⁸ Th比の分布特性と湖水の動き. 野村律夫 ・辻本 彰・井上陸夫・小藤久毅	R18-O-9
	11：00 甲府盆地北部周辺の水文環境と広域地質構造の関係. 輿水達司	R18-O-10
	11：15 八ヶ岳北東部の上水道水源湧水の年代測定と帯水層中での天然セシウムおよび微量元素の時間挙動. 中屋真司	R18-O-11 (招待)
	11：45 関東地下水盆における地盤沈下・地下水位の監視. 古野邦雄 ・香川 淳・風岡 修・楠田 隆・楡井 久	R18-O-12

第8会場（太田国際記念館研修室）	
T2. 文化地質学	
座長：先山 徹（1-3）、原田憲一（4-5）、乾 睦子（6-9）、大友幸子（10-12）	
8：45	T2-O-1 文化地質学：オーストリーと日本での進展. 鈴木寿志 ・石橋弘明
9：00	T2-O-2 首都圏の歴史的建築物を手掛かりにした美祢大理石産業の歴史の解明. 乾 睦子
9：15	T2-O-3 日本の歴史的重要な建造物における徳島県産大理石の使用とその意義. 石田啓祐 ・早淵隆人・中尾賢一・東明省三
9：30	T2-O-4 新治花崗岩と新治台地に残る石造文化財 長 秋雄
9：45	T2-O-5 (招待) ★ 文化と日本列島のジオ多様性. 尾池和夫
10：15	T2-O-6★ 山形城坤槽遺構の等高線図と栗石の礫種組成. 大友幸子 ・八木浩司・淀野将太・永井康雄・齋藤 仁
10：30	T2-O-7 福岡城上之橋御門石垣石材の岩石記載とその産地についての考察. 宮本知治 ・中村啓太郎・星野恵美・島田允堯
10：45	T2-O-8 花崗岩質石造物の産地同定における帯磁率の有効性. 先山 徹
11：00	T2-O-9 亀島山地下壕の断層と風化. 能美洋介 ・久木一磨・中西健太
11：15	T2-O-10★ スレイマニア博物館所蔵のメソポタミア粘土板胎土の組成. 安間 了 ・申 基澈・中野孝教・昆 慶明・辻 彰洋・渡辺千香子・横尾頼子・Rasheed Kamal
11：30	T2-O-11 古代物流経路の推定を目的とした土師器の非破壊蛍光X線分析：企救型甕の例. 森 康 ・佐藤浩司・坪根伸也・稗田智美・今塩屋毅行・龍 孝明・小田裕樹
11：45	T2-O-12★ 土佐清水市竜串海底の石柱群の歴史地震考古学的意義. 谷川 亘 ・山本裕二・浦本豪一郎・濱田洋平・井尻 暁・星野辰彦・若木重行・村山雅史・廣瀬丈洋・林原利明・徳山英一

■ MEMO ■

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (11) を参照）。(招待)：招待講演。

日本地質学会第122年学術大会（2015長野大会）講演プログラム（口頭）

■9月12日（土）午後

会場	第1会場（工学部講義棟100）	第2会場（工学部講義棟102）	第3会場（工学部講義棟200）
	R9. 炭酸塩岩の起源と地球環境	T3. 水蒸気噴火と火山体構造	S2. 東アジアのテクトニクスと古地理
	座長：奥村知世（3-5）、加藤大和（6-9）	座長：及川輝樹（1-3）、長谷川 健（4-7）	座長：Mark WILLIAMS（6-8）、Tatsuo OJI（9-10）
14：30	<p>14：30 R9-O-3 異なる植生下における鍾乳洞の洞内環境と地下水涵養メカニズム—沖縄県南大東島を例として—。 松田博貴・鹿島美香・梁熙俊・利部 慎・嶋田 純</p> <p>14：45 R9-O-4 浅間火山の年縞トッファの形成過。 勝田長貴・酒井佳祐・内藤さゆり・安田 敦・中井俊一・川上紳一</p> <p>15：00 R9-O-5 東北地方太平洋側地域の複数の石筍酸素同位体比記録が示す気候変動の周期性とその駆動要因。 加藤大和・山田 努</p> <p>15：15 R9-O-6★ 沖縄県南大東島大東層における上部中新統～鮮新統炭酸塩岩の堆積様式とドロマイト化作用。 島津 崇・松田博貴・浅原良浩・八木正彦</p> <p>15：30 R9-O-7 別所層と青木層に産する大サイズ苦灰石ノジュールの特性。 石田朋志・森清寿郎</p> <p>15：45 R9-O-8 秋吉帯石炭-ペルム紀石灰岩における造礁生物としての海綿類の消長。 中澤 努・上野勝美</p> <p>16：00 R9-O-9 北中国地塊のカンプリア系第三統張夏層に特徴的な“サンゴ”-イシ海綿-微生物類礁の特異な産状。 江崎洋一・足立奈津子・刘建波・闫 振</p>	<p>14：30 T3-O-1（招待） 水蒸気噴火の噴火機構と斑岩銅鉱床モデル。 大場 司</p> <p>15：00 T3-O-2 北海道東部、アトサスプリ溶岩円頂丘における水蒸気噴火の発生履歴。 長谷川 健・中川光弘・宮城磯治</p> <p>15：15 T3-O-3 口永良部島・新岳の2014年・2015年の爆発的噴火：水蒸気噴火の可能性。 小林哲夫</p> <p>15：30 T3-O-4 焼岳火山1907-39年の噴火活動—大正池形成を含む水蒸気噴火—。 及川輝樹</p> <p>15：45 T3-O-5 御嶽山2014年噴火後に発生した降雨型ラハールとRain-on-snowによる出水イベントおよび堆積物の特徴。 片岡香子・松元高峰・齋藤武士・河島克久・伊豫部勉・佐々木明彦・鈴木啓助・長橋良隆</p> <p>16：00 T3-O-6 御嶽山2014年9月噴出物中の粒子について。 牧野州明・三宅康幸・高橋 康・御嶽山総合観測班地質チーム</p> <p>16：15 T3-O-7（招待） 水蒸気噴火を起こす火口地下浅部の熱構造。 寺田暁彦</p>	<p>14：30 S2-O-6（招待） Paleozoic Japan and the Greater South China. ISOZAKI Yukio</p> <p>15：00 S2-O-7（招待） Cenozoic tectonic development and paleogeography in the Taiwan region. LIN Andrew T.</p> <p>15：30 S2-O-8（招待） Permian ostracods from Japan—their paleoecological and paleogeographical significance. TANAKA Gengo</p> <p>16：00 S2-O-9（招待） Mesozoic assembly and rearrangement of proto-Japan：Insights from paleogeography and detrital-zircon age spectra. OTOH Shigeru</p> <p>16：30 S2-O-10（招待） Paleoproterozoic to Triassic crustal evolution of the Korean Peninsula：Tectonic correlation with the Japanese Islands. CHO Moonsup</p>
	R10. 堆積過程・堆積環境・堆積地質		
	座長：高清水康博（1-4）		
	<p>16：30 R10-O-1（招待）★ 深海底で形成される粗粒ベッドフォームの特徴化とLoweモデル再構築の可能性。 伊藤 慎</p> <p>17：00 R10-O-2 タービダイト・サクセッションの検層ログデータを用いた定量的堆積相解析の試み。 大西由梨・石原与四郎・高野 修・佐々木 華</p> <p>17：15 R10-O-3 海底斜面から海洋底にかけて発達する閉鎖～非閉鎖チャンネルシステム：対馬堆積盆地の例。 江川浩輔・坂田玄輝・宮本広樹・阿部洋祐・松浦紳二・今村哲己・原 尊照・阿久津亨</p> <p>17：30 R10-O-4 三次元震探データのサイスマック地形学手法による海底扇状地詳細堆積要素の解剖：Frontal splay・舌状体群の構造。 高野修・西村瑞恵</p>		

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。 ★印：ハイライト（本誌 p. (11) を参照）。（招待）：招待講演。

日本地質学会第122年学術大会（2015長野大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月12日（土）午後

会場	第4会場（工学部講義棟300）	第5会場（工学部講義棟301）	第6会場（学部共通棟1）
	R24. 鉱物資源	R14. テクトニクス	R15. 古生物
	座長：高谷雄太郎（1-4）、安川和孝（5-7）、野崎達生（8-10）、藤永公一郎（11-13）	座長：重松紀夫（8-11）、宮川歩夢（12-15）、山北 聡（16-18）、堤 之恭（19-21）	座長：山口龍彦（5-6）、千徳明日香（7-11）
14：30	<p>14：30 R24-O-1（招待）★ 太古代アルカリ熱水作用：縞状鉄鉱層と親銅元素鉱床形成。小宮 剛</p> <p>15：00 R24-O-2 海嶺下における熱水循環：オマーンオフィオライトにおける巨大緑泥石岩体産出の意義。宮下純夫・足立佳子・金子 龍</p> <p>15：15 R24-O-3 別子型鉱床形成時の海洋酸化還元状態の推定。中村謙太郎・足立遼介・加藤泰浩</p> <p>15：30 R24-O-4 ジュラ紀付加体中に産出する層状マンガン堆積物の層序と年代。富松由希・尾上哲治</p> <p>15：45 R24-O-5 沖縄トラフ伊平屋北海丘の人工熱水孔を利用した黒鉱養殖プロジェクト。野崎達生・石橋純一郎・島田和彦・長瀬敏郎・高谷雄太郎・加藤泰浩・川口慎介・和辻智郎・渋谷岳造・山田亮一・猿橋具和・許 正憲・高井 研</p> <p>16：00 R24-O-6 Pb-Nd同位体比組成に基づくスラブ起源流体の豊羽鉱床形成への寄与の定量化。藤永公一郎・荒木修平・稗田裕樹・中村謙太郎・加藤泰浩・谷水雅治・清水 徹・町田嗣樹・中村仁美・岩森 光</p> <p>16：15 R24-O-7 地殻内部の鉱床生成場と物理探査手法開発の試み。岩森 光・中村仁美・上木賢太・桑谷 立</p> <p>16：30 R24-O-8 南鳥島周辺の排他的経済水域内におけるレアアース泥の鉱物学的特徴および粒度分布。大田隼一郎・町田嗣樹・藤永公一郎・中村謙太郎・安川和孝・高谷雄太郎・飯島耕一・鈴木勝彦・岩森 光・加藤泰浩</p> <p>16：45 R24-O-9 南鳥島EEZ南方海域におけるレアアース資源ポテンシャル評価。大矢和孝・安川和孝・大田隼一郎・藤永公一郎・高谷雄太郎・中村謙太郎・野崎達生・飯島耕一・加藤泰浩</p> <p>17：00 R24-O-10 シュウ酸・炭酸を用いたレアアース泥製錬手法の開発。高谷雄太郎・藤永公一郎・中村謙太郎・加藤泰浩</p> <p>17：15 R24-O-11 太平洋・インド洋の新生代深海堆積物を構成する地球化学的独立成分の時空間分布復元。安川和孝・中村謙太郎・藤永公一郎・岩森 光・加藤泰浩</p> <p>17：30 R24-O-12 深海堆積物中の希土類元素の初期成過程における挙動：マンガン酸化物からリン酸塩への移動。高橋嘉夫・森田康一・福川昌弘</p> <p>17：45 R24-O-13 海の鉱物資源の科学と工学の新展開。加藤泰浩・岩森 光・中村謙太郎・尾上哲治・野崎達生・藤永公一郎・町田嗣樹・高谷雄太郎・安川和孝・大田隼一郎</p>	<p>14：30 R14-O-8★ 第四紀以降の日本列島における地殻構造の発達過程：断層の力学的活動性による検討。宮川歩夢・大坪 誠</p> <p>14：45 R14-O-9 2014年長野県北西部地震における地殻変動の要因－神城断層と小谷-中山断層がつくるポップアップ構造－。津金達郎・信州大学震動調査グループ</p> <p>15：00 R14-O-10 長野県白馬村、神城地震断層周辺の活断層露頭。小林健太・飯田圭輔・香取拓馬</p> <p>15：15 R14-O-11★ 屏風山断層帯における運動像の変遷と変質帯の空間分布。香取拓馬・小林健太</p> <p>15：30 R14-O-12 伊那市長谷～大鹿地域の中央構造線の第四紀における活動。高木秀雄・杉山幸太郎・河本和朗・北澤夏樹</p> <p>15：45 R14-O-13 中央構造線、脆性領域における断層内部構造発達。重松紀生・亀高正男・稲田徳之・宮脇昌弘・東郷徹宏・亀田 純・藤本光一郎</p> <p>16：00 R14-O-14 地質断層である奈良県中央構造線の断層破碎帯の鉱物学的・地化学的特徴。大谷具幸・椿純一・河野雅弘・小嶋 智</p> <p>16：15 R14-O-15★ 四国西部、中央構造線沿いのドロマイト質片岩の地質構造からみた古第三紀の運動像の検討。窪田安打・竹下 徹</p> <p>16：30 R14-O-16★ 沈み込んだインドプレートのデラミネーションによる22～10Maのヒマラヤ変成帯の急激な上昇。酒井治孝・河上哲生、佐藤活志・岩野英樹・檀原 徹</p> <p>16：45 R14-O-17 碎屑性鉱物年代によるロシア沿海州付加体の起源推定。堤 之恭・横山一己・カサツキン セルゲイ・ゴロポフ ウラジミル</p> <p>17：00 R14-O-18 白亜紀の東アジアと堆積盆地の分化：碎屑性ジルコン年代学の貢献。磯崎行雄・中畑浩基・青木一勝・坂田修平・平田岳史</p> <p>17：15 R14-O-19 白亜紀日本の背弧堆積盆の断片とその弧横断長距離移動履歴：関東山地北縁、跡倉層・栃谷層の碎屑性ジルコン年代。中畑浩基・磯崎行雄・小坂和夫・坂田周平・平田岳史</p> <p>17：30 R14-O-20 西南日本外帯反時計回り斜走断層群の一員としての九州東部株ノ木断層。山北 聡</p> <p>17：45 R14-O-21 北部九州と韓半島および東シナ海の地質学的関係から示唆される日本海拡大のテクトニクス。眞島英壽</p>	<p>14：30 R15-O-5 生痕化石<i>Schaubcylichnus coronus</i> Frey and Howard, 1981のチューブ構成粒子の起源と形成メカニズム。菊地一輝・小竹信宏</p> <p>14：45 R15-O-6 岩石穿孔性二枚貝類による、中新統の穿孔痕にみられるジオバタル構造。千代田厚史・原田吉樹</p> <p>15：00 R15-O-7 ミャンマー国チャンター海浜砂から産出した底生有孔虫。秋元和實</p> <p>15：15 R15-O-8 分類学的組成の入れ替わりから見たアンモノイドの多様性変動。生形貴男</p> <p>15：30 R15-O-9 植物化石の抵抗性高分子のパレオリピドミクス。沢田 健</p> <p>15：45 R15-O-10 脂肪を多く含む動物組織の薄片作製と観察。田尻理恵・栗原望</p> <p>16：00 R15-O-11 微化石の光学顕微鏡および走査型電子顕微鏡観察でのオスミウム蒸着の有用性。山口龍彦・寺田武志・諸野祐樹</p>
			R16. ジュラ系+
			座長：近藤康生（1-2）、松岡 篤（3-4）
			<p>16：30 R16-O-1 ジュラ紀付加体にみられる生痕化石とその意義。松岡 篤</p> <p>16：45 R16-O-2 北部石灰アルプスの放射虫岩層序。鈴木寿志・ガウリック ハンス-ユルゲン・ディエルシェ フォルカー</p> <p>17：00 R16-O-3 相馬中村層群山上層の中部ジュラ系二枚貝動物群。近藤康生・竹谷陽二郎・八巻安夫・荒 好・平 宗雄</p> <p>17：15 R16-O-4（招待） 太平洋の中生代化石記録から探る新しいバイオイベント。伊庭靖弘</p>

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (11) を参照）。（招待）：招待講演。

日本地質学会第122年学術大会（2015 長野大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月12日（土）午後

会場	第7会場（学部共通棟3）	第8会場（太田国際記念館研修室）
	R18. 環境地質	T2. 文化地質学
	座長：香川 淳（13-16）	座長：鈴木寿志（13-17）
14：30	14：30 R18-O-13 淡水性の泥層からなる難透水層中の流体の通り道 - 房総半島北部の下総台地での例 - 風岡 修 ・吉田 剛・荻津 達・香川 淳・藤ヶ崎 稔・古野邦雄・酒井 豊 14：45 R18-O-14 TCE地下水汚染サイトにおける分解生成物の経時変化 高嶋恒太 ・ 風岡 修 15：00 R18-O-15 人工地層の汚染原因を解決する単元調査法（その2） 上砂正一 15：15 R18-O-16 人自不整合の形成と扇子状堆積構造中の物質移動 楡井 久 ・平田紀子・木村和也・檜山知代	14：30 T2-O-13★ 西彼杵半島のシシ垣 箴島聖二 14：45 T2-O-14 高知県安田町の「くわす貝」伝説について～文化地質学の視点から～ 石橋弘明 15：00 T2-O-15 伊勢神宮式年遷宮「お白石持」行事に用いられる白石の起源 内野隆之 15：15 T2-O-16 江戸期、常陸太田市町屋産蛇紋岩石材（町屋石）と石仏造立 田切美智雄 15：30 T2-O-17 文化地質学的観点から見た「夫婦岩」考 加藤碩一
	R19. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造	R20. 地学教育・地学史
	座長：須藤 宏（1-3）、西山賢一（4-6）	座長：平田大二（1-4）、矢島道子（5-8）
	15：45 R19-O-1（招待）★ 道路斜面防災の現状と課題 佐々木靖人 16：15 R19-O-2★ 2014年8月20日広島豪雨による土石流発生地域の地質 斎藤 真 ・川畑大作・佐藤大介・土志田正二・新井場公德 16：30 R19-O-3 長崎県佐世保市に分布する史跡・福井洞窟の形成に関与した地すべり 西山賢一 ・辻本裕也・柳田裕三 16：45 R19-O-4 岐阜福井県境、冠山北西の山体重力変形地形の地下構造 小嶋 智 ・岩本直也・山崎智寛・小村慶太郎・金田平太郎・大谷具幸 17：00 R19-O-5 塩ノ平断層の定方位コア試料採取 鈴木悠爾 ・亀高正男・村田誠一・青木和弘・田中義浩・瀬下和芳・酒井 亨 17：15 R19-O-6（招待）★ 2014年長野県北部の地震と糸魚川-静岡構造線断層帯 近藤久雄	15:45 R20-O-1 ナウマン(1854-1927)の古生物学的研究 矢島道子 16:00 R20-O-2 「小さなEarth Scientistのつどい」の効果 三次徳二 16:15 R20-O-3 地学教材指導上の諸問題 - 特に、火山及び火山岩を中心に - : 事例研究 松田義章 16:30 R20-O-4 なぜ日本では、「化石」というと「アンモナイト」を連想するのか? - 社会における地質学リテラシーの形成要因 - 安曾潤子 16:45 R20-O-5 天草地域に分布する佐伊津層の礫組成が物語る後背地 津留ありさ ・高尾栞織・田中 均 17:00 R20-O-6 茨城県自然博物館における地学分野のアウトリーチ活動 細谷正夫 ・諸橋靖子 17:15 R20-O-7 博物館の講座参加者にみられる地学教育への期待 平田大二 17:30 R20-O-8 コンテストからみた高校生の科学研究に求めるもの 川勝和哉

■ MEMO ■

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (11) を参照）。（招待）：招待講演。